



レイカディア大学 サポートの会広報誌

シニアの学び舎

レイカディア大学だより 彦根キャンパス

第30号
2025.10.17

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています。

第47期生 入学式挙行



秋晴れの令和7年10月2日、県立長寿社会福祉センターにて、滋賀県レイカディア大学第47期生（彦根キャンパス51名、草津キャンパス152名、総勢203名）の入学式が挙行されました。

入学許可証授与の後、市川学長から「校歌にありましたともに学ばん、ともに遊ばん、ともに生きなんの言葉のとおり、多くの仲間とともに学び、楽しみ、よろこびを分かち合ってください。レイカディア大学は学びと出会いの場であり、自分を見つめ直すとともに学生が主体的に行動し、仲間と共に豊かな地域づくりに貢献できる担い手になっていただきたい」と祝辞が述べられました。

ご来賓の祝辞の後、最後に新入生宣誓が行われ厳粛な雰囲気の式が終わりました。

学科名	彦根キャンパス			彦根 キャンパ ス	草津 キャンパ ス	合計
	園芸	北近江 文化	健康 づくり			
男	12	10	4	26	83	109
女	14	4	7	25	69	94
入学者数	26	14	11	51	152	203

『サポートの会』新年度スタート

「サポートの会」って、何をする会なの？と感じながら入会して1年が経過した44期生が、この13期サポートの会の主要メンバーとなります。昨季の1年間、12期の先輩諸氏の活動を見ながら一緒に活動に取り組み、ようやくサポートの会の趣旨や役割を理解することが出来ました。その経験を生かし13期では、卒業生の縦つながりをより一層深め、サポートの会の皆さんそれぞれが役割を持って楽しく活動できるよう取り組んで参ります。

第13期 代表 小林隆典

サポートの会の活動を広く外に発信し、レイカディア大学の存在をより多くの皆さんにさらに知って頂くよう、草津キャンパスサポートの会とも連携しながら努めたいと思います。これらの活動のために大学事務局との協働はもとより、同窓会、えにしの会の皆さまのさらなるご支援とご協力をお願い致します。



第12期サポートの会活動を振り返って

12期代表 矢野喜司男

「サポートの会」は、レイカディア大学現役時代には見えなかつた会員の素晴らしい能力やスキルを引き出す場であることを、代表を務めて実感しました。皆さんの熱意と協力を得て、充実した活動が展開できたことを心から感謝しています。総務部の強力な協力のもと、12期下期からペーパレス化に取り組み、電子化への転換を実現しました。そして、13期ではさらにDX化への第一歩を踏み出すきっかけを作ることができました。

北近江文化学科部会では、初めての交流事業を実施しました。「なんでなん！？彦根城！！」や「続そうやったん！？彦根城！！」といった企画を通じ、世界遺産を目指す彦根城の魅力を広く伝えました。この企画では「サポートの会」の会員が講師を務め、活動の進化を感じられる場となりました。



地域活動プロジェクトでは、恒例の「愛知川河畔林愛林活動」に約 100 名が参加し、その中の約 3 割が現役生の参加となりました。これにより、サポートの会の広報活動にも大きく寄与しました。また、卒業生を対象とした地域貢献活動アンケートでは 89% という高い回収率を達成し、95.7% の方がボランティア活動に参加しているという結果が得られました。これは過去最高値であり、レイカディア大学が地域社会の発展にどれだけ寄与しているかを示すものとなりました。

学生募集活動では、プロジェクトメンバーをはじめ多くの協力者が、時間と労力を惜しまず尽力してくれました。しかし、定年後の再就職が当たり前となった今、こうした方々を大学に誘うことの難しさを改めて感じました。

各部、各学科部会、各プロジェクトで多くの企画運営をしていただきました。紙面の関係ですべてを紹介する事が出来ません。お許しください。

こうした多くの皆さんのお力添えのおかげで 12 期を無事に終えることができました。この場を借りて、心から感謝申し上げるとともに、皆さまのますますのご活躍をお祈り申し上げます。

第13期サポートの会 活動計画

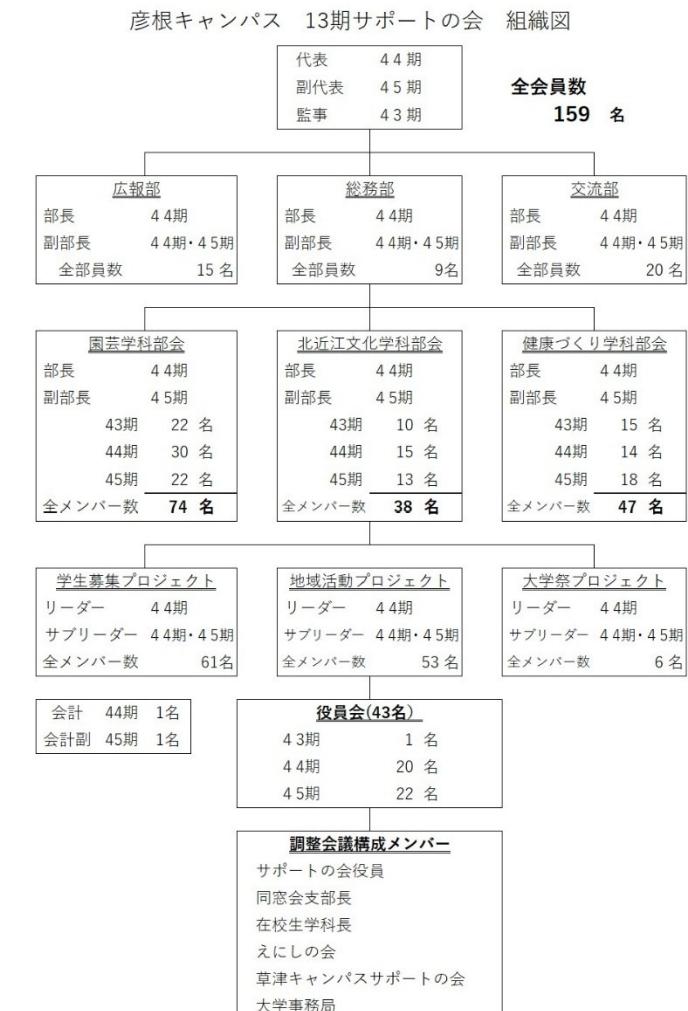
サポートの会はその活動規約にある、大学当局とサポートの会の間での覚書きの内容を実施することを活動の目的とし、大学事務局、同窓会、えにしの会と連携し、会員、卒業生、在校生間の親睦を深め、豊かなシニアライフへの貢献を目指してまいります。

【活動の骨子】

「ささえあい、たすけあい、みんなで楽しもう」を活動テーマに掲げ、会員の皆さんのが活動の目的を達成するために、学科と期を超えた縦横のつながりを深めながら、楽しく会の運営を進め、充実した時間を共有して行きたいと考えています。

◆具体的な活動の項目として

- ・事務局、同窓会、えにしの会と連携した学生募集活動を行います。
 - ・サポートの会運営業務へのデジタル化取り込みによる役員会・調整会議を含む業務簡素化と会員の負担軽減を図ります。
 - ・HP 等を活用したサポートの会活動の見える化をさらに推進し、会員間の情報共有を進め、それらを外部発信へつながるよう取り組みます。
 - ・サポートの会主催の交流事業の充実により、会員、卒業生、在校生、また、草津キャンパスとの親睦を深めています。
 - ・在学生の授業サポートやサポートの会の広報活動を通じてサポートの会を PR し、来期の入会につなげます。以上、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



第45期生 卒業式

暑さの残る9月12日(金)、滋賀県立文化産業交流会館イベントホールにて第45期生の卒業式が挙行されました。本年の卒業生177名を含めると全卒業生が7,000名を超えることとなりました。彦根校では、園芸学科21名、北近江文化学科17名、健康づくり学科18名の方々が卒業されました。市川学長から卒業生に向けて、「在学中に学んだ教養や知識だけでなく、苦楽を共にした仲間たちと励ましあい絆を深められたことは、今後地域の担い手として活躍していただくことに生かしていくことでしょう。」との励ましのお言葉をいただきました。



第45期生から47期生へのメッセージ

◆彦根キャンパス45期生 園芸学科 林美代子

知人からレイカディア大学45期の入学願書を出すよう勧められましたが、少し働いていたこともあり、『来年行こうかな』と返事をすると、先送りしていると何があるかわからない、やつてみたいと思った事はすぐ行動した方が良いと背中を押されました。その



おかげで、この2年間に出会った人達、新しい経験と学び、どれも思いきって入学して良かったと思えることばかりになりました。47期生の皆さん、ともに学ばん、ともに遊ばん、ともに生きなん、レイカディア大学校歌にあるように、2年間の良い思い出を作ってください。

◆彦根キャンパス45期生 北近江文化学科 松居廣子

47期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は、何か新しいことに挑戦したいと思い気軽な気持ちで入学しました。入学当初は続けられるか不安はありました。何もかも新鮮で興味深く、とても刺激になりました。また、仲間に支えられ楽しく過ごすことができました。ボランティアやニュースポーツ大会、大学祭や課題学習などみんなで協力し、充実した楽しい2年間でした。私には大学が地元の魅力でした。たくさんの素晴らしい友人に出会えたことは一生の宝物です。ぜひ皆さんも仲間と一緒に大学生活を楽しんでください。



◆彦根キャンパス45期生 健康づくり学科 外池隆也

レイカディア大学での2年間は、笑いと学び、そして仲間との絆に満ちた日々でした。課題学習で歩いた余呉湖では「まだ半分!?」と笑い声が響き、疲れもどこかへ。



広報部ではパワーポイントやホームページ、卒業ムービー作成に挑戦し、できることが増える喜びを実感しました。年齢も経験も関係なく、共に学び合える仲間がいることは何よりの宝ものです。新入生のみなさま、ここでの出会いがきっと人生の宝になりますよ!

第4回地域貢献活動アンケート調査

地域活動PJアンケート委員会

サポートの会では卒業後の3年間にかけて毎年4月に地域貢献活動アンケート調査を実施しています。これは地域で活躍されている卒業生の地域活動の実態把握と大学の存在意義を明らかにするために行われています。今回は42期生、43期生、44期生について一年間の活動をアンケート形式で調査しました。詳細はサポートの会ホームページに掲載されていますが、今回はそのダイジェスト版です。

活動者数の推移

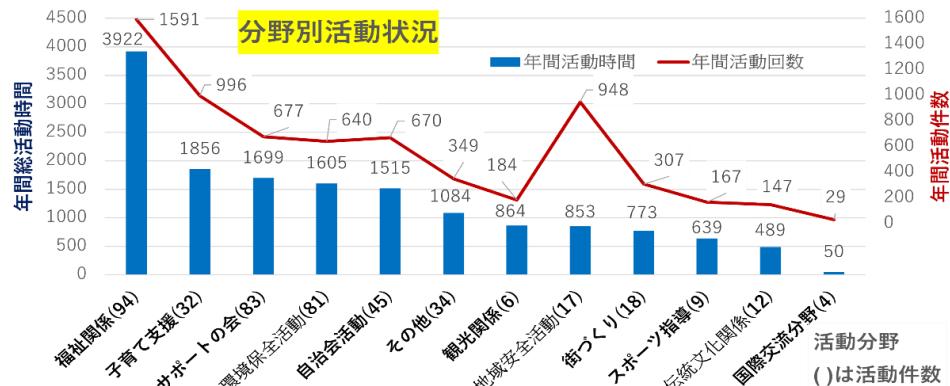


調査対象の卒業生は155名でアンケートの回収率は89%(138名)でした。そのうち活動を報告した人は132名でしたので活動割合は95.7%という高い値になりました。

左のグラフは3年間の推移をまとめたものです。コロナの影響で減少していた活動が戻っていることを示しています。

一人当たりの活動時間は減少していますが、活動を控えていた人が少しずつ活動を再開しているためと考えられます。

年間総活動時間



左のグラフは活動分野別の状況をグラフ化したものです。132名の活動総件数は6,705件で15,348時間になり、平均すると毎日18.3人が平均2.3時間活動されていることになります。分野別の活動時間は福祉関係25.5%、子育て支援12.1%、サポートの会11.1%、環境保全10.5%、自治会活動9.9%の順になり、この5分野で全体の約70%を締めています。

第12期サポートの会 下期活動報告

園芸学科部会

- ◆甲良養護学校(45・46期サポート) 7月22日
園芸部会では、大学の校外学習のサポートを行うとともに、園芸部会主催の交流行事として、現役の45期、46期およびサポートの会の42期から44期生参加のもと、剪定作業を行いました。
- 

北近江文化学科部会

- ◆46期生校外学習 北近江の治水 西野水道 7月8日
北近江文化学科の定番である西野水道の校外学習にサポートの会3名が参加しました。西野水道は、約170年前たびたび洪水に見舞われていた西野地区を守るために、西山の麓にノミのみで貴かれた「手掘りの岩穴」です。当日は気温も高く熱中症が危ぶまれる中、真っ暗で狭く足元の悪い水道の中を長靴と懐中電灯を手に進み、全員無事に坑外に出ることができました。水道を出たあとの爽快感は格別であり、目の前に広がる琵琶湖の景色に魅了されました。
- 

健康づくり学科部会

- ◆健康グラウンドゴルフ交流会 4月17日
健康づくり学科 42~46期生の希望者 52名の参加で、快晴の中、能登川やわらぎの郷運動公園にてグラウンドゴルフを実施しました。各期の混合組分けで、初心者の方は打ち方やルールを教わり、グラウンドゴルフの技術や楽しさを実感し、お互いの会話も弾み「健康増進とスポーツを通じての交流」が図れました。
- 

レイカディア大学だより彦根キャンパス

2025年10月17日 第30号

発行：滋賀県レイカディア大学 (☎ 0749-21-6333)
彦根キャンパス サポートの会(広報部)
■ 彦根市大東町2-28 COZY TOWN内
(アル・プラザ彦根4階)
■ 彦根キャンパス
サポートの会ホームページ：
<http://lacamaibara.com/support/index.html>



学生募集プロジェクト

- ◆第47期活動を振り返って

学生募集 PJL 日比浅嗣
彦根キャンパスの第47期学生応募数は、どの学科も定員数を超ませんでした。特に北近江文化学科と健康づくり学科は、残念ながら7月末の募集締め切り時点で約半数ということで残念な結果となりました。8月に実施された追加募集で数名の応募があり、目標達成までは至りませんでしたが、まずは胸を撫でおろしたしだいです。レイカディア大学の良さを沢山の人に知ってもらおうと、対面を重視し、強く熱くレイカディア大学の良さを語っていました。

学生募集プロジェクトメンバーは公開講座や学科見学会の座談会では、卒業生の熱いレイカディア愛で、質疑応答の時間が足らなくなることもありました。

その他にも地道な活動を熱心に取り組んでください、感謝の気持ちでいっぱいです。

同窓会の皆様には各支部のチラシ配りや、作品展での学生募集活動にも協力いただき、ありがとうございました。

在学生の方には知り合いへの声掛けで協力していただきました。結果は少し残念でしたが、みんなが一体となって活動に取り組めたことは学生募集活動の宝となつたと思います。また、いくつかの課題も明らかになり、次年度につなぐことができたと思います。

サポートの会、在学生、同窓会、えにしの会、事務局の皆々様には、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



《編集後記》

この「大学だより30号」が在校生、卒業生はもとより広く一般の皆様方に手に取って頂き、レイカディア大学や各学科、各部会の幅広い活動を知って頂く機会となってくれる事を願って編集・発行させて頂きました。

紙面の作成にあたり、ご多忙の中、取材や原稿執筆にご協力いただきましたサポートの会の皆様に感謝申し上げます。(T.T.)